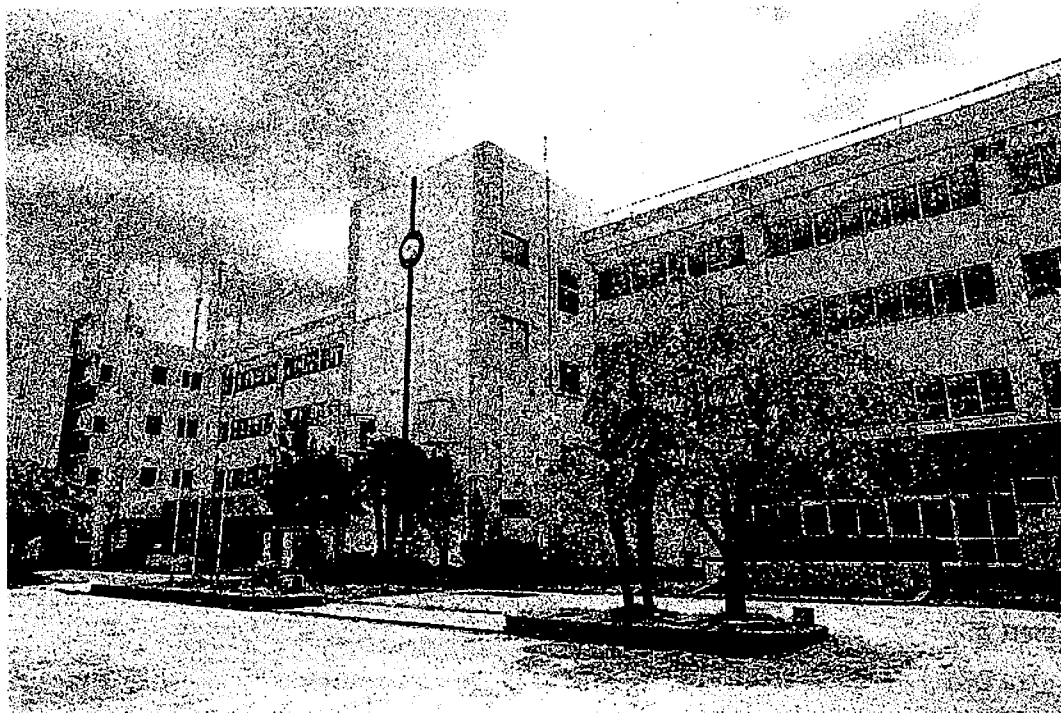


第69次 印旛地区教育研究集会
(社会科教育・中学校)

基礎学力の定着を図り，思考力・判断力・表現力を養う授業の在り方

～家庭学習の成果をどのように授業に結びつけるか～



四街道市立四街道西中学校

栗林 利行

1. 研究主題

基礎学力の定着を図り、思考力・判断力・表現力を養う授業の在り方
～家庭学習の成果をどのように授業に結びつけるか～

2. 主題設定の理由

(1) 学習指導要領から

学習指導要領（平成29年3月告示）には、総則の第1の3において、

1. 知識及び技能が習得されるようにすること。
2. 思考力、判断力、表現力等を育成すること。
3. 学びに向かう力、人間性を涵養すること、が偏りなく実現されるよう、学校教育全体で、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行うこと。」と明記されている。

また、**総則第1「中学校教育の基本と教育課程の役割」の2（資料①）**に下記のように記されている。

（1）基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かし多様な人々との協働を促す教育の充実に努めること。その際、生徒の発達段階を考慮して、生徒の言語活動など、学習の基盤をつくる活動を充実するとともに、家庭との連携を図りながら、生徒の学習習慣が確立するよう配慮すること。

そこで、生徒の主体的で対話的な学びを実現し、思考力、判断力、表現力を育成していく中で、家庭学習の成果を生かす授業の在り方の追究を研究主題に設定した。

(2) 印教研研究主題から

よりよい社会の実現に寄与する「生きる力」を培う社会科学習
～自ら課題を見だし、自らの考えを表現できる児童生徒の育成を目指して～

この研究主題は、学習指導要領の目標（小中学校社会科）「国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う」を受けて、たてられている。グローバル化が進む社会では児童生徒に基礎的・基本的な内容を確実に身につけさせることが重要である。また、自ら学び、考える力を培うことも、今後の急激な社会の変化に対応していくために必要なことである。

社会科研究部の方向性として、「自分の考えを言葉や図で相手にわかるように表現すること」と、そのために「気候・地形などの自然環境や地域の歴史・文化」を「見出す・自分で取り組む・広げ深める・まとめあげる」活動を通して、児童生徒にしっかりと身につけさせることが大切であると考え。

(3) 本校生徒の実態から

本校は四街道駅の北側から西側に広がる地域が学区である。北側は田園風景が広がる鹿放ヶ丘地区である。四街道地域の開拓の歴史の面影が残る地区である。佐倉市の上志津中学区と隣接する。西側は中学校から100mぐらいで千葉市稲毛区になる。印旛・北総管内の西端である。四街道駅北側では四街道北中学区と隣接している。

現在の西中は、学校生活は落ち着いていて、委員会活動が活発であり、生徒による呼びかけや点検活動を中心に、自治的活動が確実に行われている。学習面では昨年度の千葉県標準学力テストの結果において、現3学年は国語と英語は県平均点の±0.5であるが、理科・社会・英語は下回っている。現2学年は、国語・数学・英語・理科が県平均点を上回っていて、英語は平均並みである。学年によって学力の上下は大きい。

そこで、西中では、落ち着いた学校生活を基盤として、学習指導要領で示された「主体的・対話的で深い学び」を実現する良い機会と捉え、**本校の研究主題を『指導過程の工夫・改善～生徒が学び合いを通して、思考力、判断力、表現力を養うにはどうしたらよいか～』**と定め、授業づくりや指導方法を工夫改善していこうと取り組んでいる。

その中で社会科では、思考力・判断力・表現力を養うために、学習班による話し合い活動を取り入れてきた。話し合い学習を深め、思考力、判断力、表現力を伸ばすためには、基本的な事柄や用語、原因や背景を理解していることが必要である。そこで、家庭学習の成果を授業に活用できないか、と考え後述の研究目標を設定した。

家庭学習について本校の制度は、内容は本人に任せているが、毎日1ページ分を宿題とし、やり残した分を学級優先日等を使って居残り勉強で精算させるというしくみで行っている。

但し、本研究は家庭学習のやり方の研究ではない。家庭学習の効果的なやり方はいろいろあるであろうが、本研究は、家庭学習の成果を生かした授業の在り方を探求する。

3. 研究目標

本校の研究主題に沿って、学習班による話し合い活動を行ってきた。また、同様に、家庭学習の充実に力を入れてきた。

そこで、その成果を授業に取り入れれば、話し合い活動がさらに充実し、生徒の思考力・判断力・表現力が高まることを明らかにする。

4. 研究仮説と研究方法

<研究仮説>

家庭学習の成果を授業に取り入れて、基礎的・基本的な知識を定着させれば、また、授業の中で、話し合い活動や予想や個人のまとめを発表させる通して…、思考力・判断力・表現力が高まり、多面的・多角的な考えや意見が多く見られるだろう。

<事前の状況①>

1. 授業と家庭学習の連携を追究する前提として、家庭学習として社会科をどのくらい取り組んでいるかがある。アンケートをとってみた。

<家庭学習についてのアンケート 1学年2クラス62名>

Q：家庭学習に週何回ぐらい社会科を行いますか。

1週間に…1回 18 / 60

2回 14 / 60

4回 6 / 60

ごくたまに 8 / 60

やらない 12 / 60

Q：その内容はどんなことですか

…テスト範囲のワーク / 自分なりの「まとめ」 / 用語をまとめる / 単元をまとめる
そこで、家庭学習の成果を確実に認識し、その成果が、授業に表れることを検証したい。

※家庭学習に「社会科」をどのくらい取り組んでいるか、の頻度については、おおよそ妥当な結果と受け止め、特に検証に大きな影響を与えないと判断した。

ちなみに、社会科を多く取り組ませようと「社会科モニター」を募集し、現2学年3名が申し出て家庭学習を行わせたが、長続きせずうまくいかなかった。

(社会科モニターを募集(資料編③)してみたが…。)

<事前の状況②>

2. 学習班での話し合い活動を行う際に、「基礎的な事柄を確実に理解していないと、課題に迫る意見が出てこない」という声も聞く。

その一方で「基礎・基本を身につけていけば、思考力・判断力が高まり、話し合いの質がレベルアップし、多面的・多角的な考えや意見が活発になる」ことを検証したい。

そのために、記述式問題のアンケートを行い、現時点で、基礎的・基本的内容が身につけているかを調査してみた。

<記述式問題についてのアンケート (H30.12) 現2学年2クラス62名より抽出>

Q1：摂関政治とはどのようなものですか? (資料編②)

1. 天皇が位を上げようとした。

2. 摂政と関白が天皇の代わりに行う政治。

3. 摂政と関白が中心となって政治を行う。天皇の代わりに政治を行う。
4. 天皇の仕事の手伝いのような立ち位置の摂政と関白が天皇の代わりに政治を行うこと。天皇が子どもまたは女性の時に就くのが摂政で、天皇が退位後の位についた時に補佐するのが関白。
5. 天皇が子どもや女性だった場合の補佐としてつく役職の摂政と関白が行う政治のこと。
6. 天皇が小さい時に摂政、成人した時には関白という天皇を補佐する役職。
7. 天皇が女や子どもの時は天皇の補佐役として政治を行い天皇が大人になったら関白とし政治を行うこと。藤原氏が行った政治。
8. 自分の娘を天皇の后にして、生まれた子を天皇にして…。
天皇が子どもの時は摂政として、成人した後は関白として天皇を補佐しながら政治を行うこと。

上のアンケートは1年次の3学期に行った。摂関政治を学習したのは1年次の2学期であるので2、3ヶ月後の調査となった。

7・8の生徒は正しく答えられている。1・4の生徒は不正解である。2・3・5・6の生徒はもう少し詳しく記述できた方がよい。機会を重ねて記述式問題に慣れれば、的確な用語を使った記述ができるはずである。

Q2：記述式問題を苦手とする理由は、何だと思えますか。

<文章苦手>

- 自分で文章考えて書くのが苦手だから
- 言いたいことはわかっているけど、うまく文に表せない。
- 変な文章になってしまう。
- 説明が苦手なので、どう書いてよいかわからない。

<用語理解×>

- 必要な語句が書いてなかったり、人物名を間違えてしまった。
- 人名や語句とその内容を覚えていなかった。
- 必要ない用語を使ったり、関連語句を間違えていた。

<原因・背景・内容×>

- 内容を理解していなかった。
- 出来事の原因や理由がわかっていなかった。
- 資料やグラフをしっかりと見ていなかった。グラフを読み取れていない。
- 教科書の内容を理解していなかった。理解が深くない。
- 知識不足・勉強不足

<その他>

- 問題文の意味がわからなかった。
- 考えるのに時間がかかり、後回しにしてしまった。

記述式問題に正答できなかつた理由として、主に上記の3つに分類できた。

<研究方法・手立て>

「広げ深める」や「まとめあげる」の単元で、
「話し合い学習」や「発表する」授業を行い、
その「学習課題（話し合いのテーマ・発表内容）」に対する自分の考えや原稿を、家庭学習の課題として提示し、事前に準備させる。

- (1) 家庭学習＝自主学習ではなくなるが、「家庭学習の成果を授業に取り入れて」という仮説を検証するには、家庭学習に課題を出すことも必要である。
- (2) 話し合い学習や発表の準備をさせることで、①基礎的な用語やテーマの内容や背景を調べたり・復習する機会となる。②事前に原稿を準備することで、論理的思考や表現力を育成する練習になる。

もう一つの手立てとして、「生徒が行っている家庭学習の内容を取り入れた授業の展開の工夫」も研究する余地があるが、今回は上記について検証する。

思考力・判断力が高まったかどうかを検証することは非常に難しいが、以下の観点について検証していく。

1. 生徒の話し合い・発表の観察

…話し合い活動・発表等をしている時の生徒の言動から読み取る。

または、教師の発問に対する生徒の発表やつぶやきを拾い読み取る。

2. 課題として出したテーマについて、準備してきた原稿の分析

3. 生徒が記述したノート等の感想や気づいたこと・疑問に思ったことから読み取る

5. 仮説の検証

1. 生徒の話し合い・発表の観察

7/9 (火) 1-1 / 11 (木) 1-4にて

アフリカ州ー特定の生産品にかたよる生活からの変化ー

「アフリカ州の課題と展望について」

資料編 (④指導案・⑤ホワイトボードの写真)

写真①多面的・多角的に話し合いが行われた様子あり。

②既習内容のEUを参考にした意見。

③メンバーそれぞれが意見を出した様子あり。

④教科書の発展的内容を取り入れている。

6 / 5 (水) 1 - 1 / 6 (木) 「南アジアで急速に成長するインド」

(学習課題) インドはどのように発展したのだろうか。

5 / 15 (水) 1 - 1 / 23 (木) 「標高の高い土地に暮らす人々」

(学習課題) 人々はどのように暮らしているのか。

2. 家庭学習として、原稿を作ってくる…資料編⑥3枚

2節 ヨーロッパ州一国どうしの統合による変化ー

「ヨーロッパの抱える課題とロシア連邦」の中の「EUの抱える課題」について

6 / 25 (火) 1 - 1 / 28 (金) 1 - 4

①各自家庭学習で調べて来る。

②授業にて、学習班(3~4名)の中で発表する。班代表1名が教室の前に出て、全体に発表する。…家庭学習で調べてきた内容

○動画…慣れていないので、原稿を読み上げる状態だが、今後回数を重ねていけば、自分の言葉で発表できるだろう。

○教科書・資料集を使ってノート半ページ~1ページ分くらいにまとめていた。

○小学校時の「調べ学習」が定着しているので、半分以上の生徒はまとめることができていた。

○事前に調べているので、「経済格差」「一人あたりの所得が低い国」などのキーワードを使って、発表することができていた。

3. 生徒が記述したノート等の感想…資料編⑦生徒ノート

○毎回授業の最後に書かせた。(…ノートを雑に書く男子?でさえ?)

学習課題に対応した感想を記入するようになった。

太字の重要語句を使って記入するようになった。

<1. 2. 3. を通して…>

教科書の重要語句を意識して使ったり、学習課題に対応した「まとめ」や「感想」を記述することができるようになった。

発表時にも、事前に生徒自身に調べさせることにより、教科書の重要語句を使って発表することができた。

6. 成果と課題

<成果> 話し合い学習 昨年度1回/今年度5月1回/6月1回/7月1回
家庭学習として、原稿を作ってくる。 6月1回
感想等の記入：1学年では5月からずっと。

- ①話し合い学習や発表の機会を多く取り入れた授業を行ったことで、生徒の思考力・判断力・表現力が高まり、多面的・多角的な考えや意見が多く見られた。
- ②話し合い学習や発表の機会を多く取り入れた授業を行ったことで、生徒が話し合い学習の形態や発表に慣れてきた。時間配分が改善されたり、教科書に書いてある内容はすぐに意見として出てくるようになった。
- ③生徒が、自分なりに理由や背景を理解して、記述したり発表できた。

<課題>

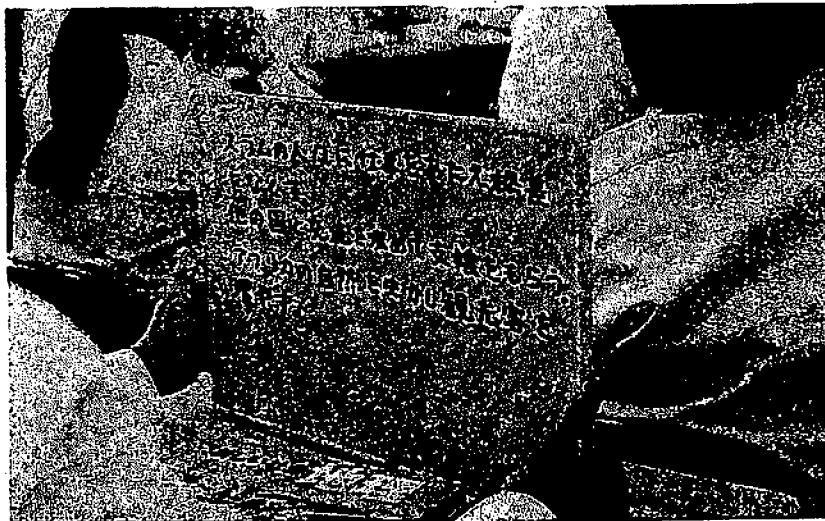
- ①ノートの記述や発表時に重要語句を使うようになったが、語句の意味や背景の理解が不十分な生徒もいた。
- ②教科書の内容の理解が不十分な生徒もいるので、講義形式で教える授業も必要だと思った。その際には、学習課題や発問を工夫して、生徒の思考力・判断力が向上するな授業展開が必要である。
- ③「生徒が行っている家庭学習の内容を取り入れた授業の展開の工夫」も研究する余地がある。
- ④単元のまとめの部分だけに限らず、導入部において、予想的仮説的な意見を話しあう活動もできたのでは。
- ⑤分野や単元にもよるが、ワーク等で予習をさせておき、授業ではテーマ別学習・調べ学習等を行っていくことも容易にできそうである。

第69次 印旛地区教育研究集会
(社会科教育・中学校)

基礎学力の定着を図り，思考力・判断力・表現力を養う授業の在り方

～家庭学習の成果をどのように授業に結びつけるか～

資料編



四街道市立四街道西中学校
栗林 利行

第1章 総則

第1 中学校教育の基本と教育課程の役割

1 各学校においては、教育基本法及び学校教育法その他の法令並びにこの章以下に示すところに従い、生徒の人間として調和のとれた育成を目指し、生徒の心身の発達の段階や特性及び学校や地域の実態を十分考慮して、適切な教育課程を編成するものとし、これらに掲げる目標を達成するよう教育を行うものとする。

2 学校の教育活動を進めるに当たっては、各学校において、第3の1に示す主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、次の(1)から(3)までに掲げる事項の実現を図り、生徒に生きる力を育むことを目指すものとする。

(1) 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かし多様な人々との協働を促す教育の充実に努めること。その際、生徒の発達の段階を考慮して、生徒の言語活動など、学習の基盤をつくる活動を充実するとともに、家庭との連携を図りながら、生徒の学習習慣が確立するよう配慮すること。

(2) 道徳教育や体験活動、多様な表現や鑑賞の活動等を通して、豊かな心や創造性の涵養を目指した教育の充実に努めること。

学校における道徳教育は、特別の教科である道徳（以下「道徳科」という。）を要として学校の教育活動全体を通じて行うものであり、道徳科はもとより、各教科、総合的な学習の時間及び特別活動のそれぞれの特質に応じて、生徒の発達の段階を考慮して、適切な指導を行うこと。

道徳教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、人間としての生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目標とすること。

道徳教育を進めるに当たっては、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を家庭、学校、その他社会における具体的な生活の中に生かし、豊かな心をもち、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛し、個性豊かな文化の創造を図るとともに、平和で民主的な国家及び社会の形成者として、公共の精神を尊び、社会及び国家の発展に努め、他国を尊重し、国際社会の平和と発展や環境の保全に貢献し未来をひら拓く主体性のある日本人

資料2 Q: 摂関政治とはどのようなものですか?

(1) 摂関政治とはどのようなものですか。

1 天皇が弱くして上げようとした

(1) 摂関政治とはどのようなものですか。

2 摂関と関白が天皇の代わりに行う政治。

(1) 摂関政治とはどのようなものですか。

3 摂関と関白が中心となって政治を行う。
天皇のかわりに政治を行う

(1) 摂関政治とはどのようなものですか。

4 天皇の弱体化の手段として、摂関と関白が天皇の代わりに政治を行うこと。
天皇が子孫繁栄のために女性を娶ったのが摂関で、天皇が親政を遂げるために摂関が関白になった。

(1) 摂関政治とはどのようなものですか。

5

天皇が子いもや女性だった場合の補佐としてつく役職の
摂政と関白が行う政治のこと。

(1) 摂関政治とはどのようなものですか。

6

天皇が小さい時に摂政、天が成人したら関白とい
う。天皇をほ佐する役職。

(1) 摂関政治とはどのようなものですか。

7

天皇が女や子どもの時は、天皇のほさ役として、政治を
行い、天皇が大人になったら、関白として政治を行
なうこと。藤原氏が行なった政治。

(1) 摂関政治とはどのようなものですか。

8

天皇が子どもの時は、摂政として、天皇の補佐役とし
て、つき、そして天皇が成人した後も、関白として
補佐して、自分かのぞむ政治をすること。

自分の娘を天皇のまににし、子を産ませ。

生まれた子を天皇にして...

(揭示)

『家庭学習 社会科モニター』を 募集します。

<期間> 2月4日～3月20日終業式まで

<やっってもらふこと…>

- ①家庭学習を特に頑張ること。
 - ②家庭学習の内容に、社会科を多くやること。
- (プリント等はいくらか準備します(「家庭学習の友」)が、基本的に家庭学習の内容は各自で考えてください。)

<メリットとデメリット>

良い点…家庭学習を頑張ることになる。

悪い点…社会を多くやるので、他教科をやる時間が少なくなる。

<目的>

社会科の先生方の研修会で、モニターさんが、社会科の家庭学習を頑張った成果を報告させていただきます。

(どのように)

ノートをコピーさせてもらったり、テストの結果等を比較させていただきます。

(ただし…)

個人情報保護します。なので、「西中の2年生」とまでしか特定できないようにします。

<興味のある生徒は…>

社会科 栗林まで、言いにきてください。

資料4 校内研修の指導案です。

5. 本時の指導

(1) 目標・アフリカ州の課題と展望について、学習班での話し合い活動に主体的に取り組もうとする。(社会的事象への関心・意欲・態度)

・アフリカ州の課題について都市化・人口増加・環境問題の視点から理解することができる。(社会的事象についての知識・理解)

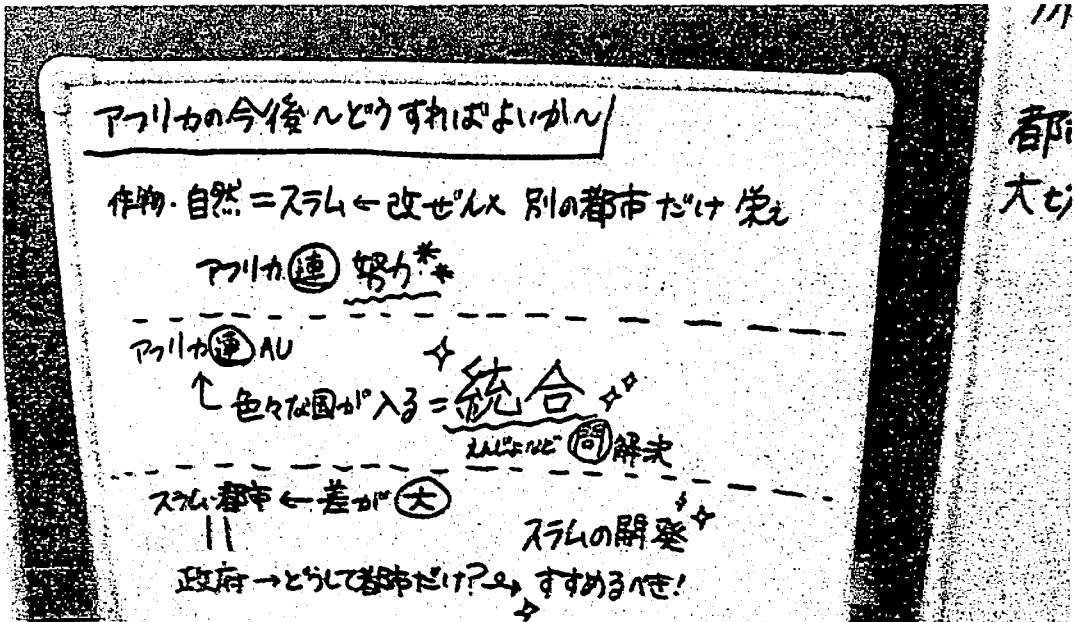
(2) 本時の展開

時配	学習内容 と 学習活動	指導・支援 ○評価	資料
5分	<p>【見出す】</p> <p>1. 今まで学習した内容を確認する。</p> <p>2. ナイロビ市内の「高層ビルの写真」と「スラム地区の写真」を提示する。 2枚の写真を見比べ、感想を発表する。 ・近代的／東京みたい ・スラム／ヤバそう／危険／治安が悪い</p> <p>3. 本時のめあてを確認する。</p>	<p>今まで学習した内容を確認する。</p> <p>・2枚ともアフリカ(ナイロビ市内)であることを伝える。 ↓ 課題を見いだす</p>	P78 写真
学習課題：アフリカ州が抱えている問題はどんなだろう？			
10分	<p>【自分で取り組む】</p> <p>4. ノートに予想を書く。 ・貧富の差／経済格差…都市部 ・砂漠化 …農村部 人口増加／家畜の過放牧</p>	<p>・都市部と農村部で分けて課題が何かを考えさせる。 ・教科書P31を振り返らせる。</p>	教科書を調べる
5分	<p>5. 自分の意見を発表する。</p>		
◎産業が発達し豊かになった← →人口増加→砂漠化／スラム どうしたらよいのだろうか？			
5分	<p>【広げ深める】</p> <p>6. 学習班による話し合い活動 「アフリカはどのように発展していけばよいのか？」</p>	<p>・要点を整理する。 「人口増加」 本当に豊かになったのか。 貧しい人も大勢いる。</p>	
10分	<p>7. 班ごとに発表する。＜発表の形式＞ ・班ごとに()の分野を選択して考える。</p>	<p>・事前取ったアンケート②を紹介する。</p>	

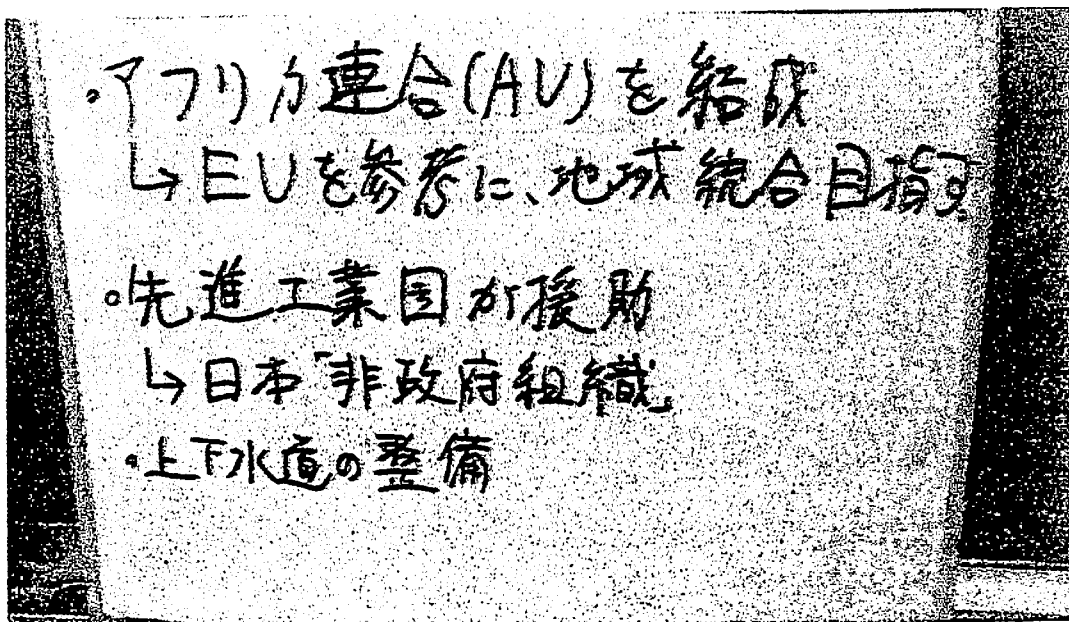
	<p>『(農業)をさかんにする。 …例えば、用水路などを整備して、熱帯の気候を利用した稲作を大規模に行う。』</p> <p>『(農業)をさかんにする。 …例えば、熱帯でも高地なら、コーヒー豆や小麦の栽培を大規模に行う。』</p> <p>『(観光)をさかんにする。 …例えば、密漁を禁じ自然環境を保護して野生動物の数を増やし人間と共存させて身近に見られる回数を増やし観光の目玉にする。』</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いが漠然となるのを防ぐため、班ごとに各分野を選択させる。 ・話し合いのまとめを形式化して、話し合いをまとめやすくする。 農業／観光／工業 ／鉱工業(資源)／教育 <p>○アフリカ州の課題と展望について、学習班での話し合い活動に主体的に取り組んでいる。</p>	
5分	<p>【まとめあげる】</p> <p>8. 自分の班での話し合いの成果と、他班の発表を聞いて、自分なりの言葉でまとめる。</p>	<p>○アフリカ州の課題について都市化・人口増加・環境問題の視点から理解している。</p>	
<p>まとめ：アフリカ州の課題は「貧困の格差」であり、都市ではスラム地区・農村では砂漠化である。 格差をなくすためには、さらに産業を発展させ、さらに多くの人々が豊かになっていことが必要である。</p>			
	<p>9. 本時の振り返り・気づいたこと感想をノートに記入する。</p>		

資料5 校内研修の時の学習班での話し合い学習にてまとめた内容です。

①多面的・多角的に話し合いが行われた様子あり。



②既習内容のEUを参考にした意見。



③メンバーそれぞれが意見を出した様子あり。

いろいろな問題の解決方法は？

1. 外国に委譲してもらう、例えば他の国と仲良くなる

2. 産業をさかんにする、コロンビアと輸出する、

3. 観光をさかんにする、エジプトの人々を呼び寄せる

4. いろいろな国と協力する、いろいろな国と貿易する。

5. 農業をさかんにする、カカオや棉花などをとととと育てる。

3班

④教科書の発展的内容を取り入れている。

・ アフリカが食料援助を他の国に
してもらう。

・ 日本の非政府組織(NGO)がアフリカ民間団体に技術指導を行う。

・ 観光をさかんにするためにステップと呼ばれる草原地帯で野生動物を観光客に紹介する

ヨーロッパの課題

6/20 A

課題

① 経済格差(一人あたりの国民総所得(GNI))
ギリシア → 財政問題で、経済格差の拡大が進んで
予想されている

↓ EUは

所得が低いなどの
問題をかかえる
国

多くの補助金を支給し
る

② 意見の調整に時間がかかる → 加盟国が昔ながら

③ EUの力が強くなることで、各国の考えが反映さ
るようになること

EUは
財政赤字
を減らす

EUは財政赤字を減らす
EUは財政赤字を減らす
EUは財政赤字を減らす
EUは財政赤字を減らす
EUは財政赤字を減らす

3 アフリカの課題と展望

Q1 どんな課題があって、どう改善すれば...?

(予想) 金持ちと貧乏の人の格差

Q1 その他にどんな課題があるか

- 人口の増加
- エイズの発症率
- 環境問題

Q2 アフリカ諸国はどうかすればいいか

- 薬をつくる。
- 森林、動物を大切にす

<感想>

アフリカの課題をそれぞれの班から聞いて
アフリカの課題についてよりわかりました。
解決策もわかり、アフリカ問題について
理解しました。しかし、アフリカにはさまざまな課題があり
大変な事だと思いました。

7/5 A

2 アフリカの産業と新たな開発

① アフリカの農業の特色を挙げてみよう

かんに生産されている農産物

カカオ 綿花 コーヒー豆
バナナ 落花生

輸出用
茶

方法、植民地時代 → プランテーション

伝統的な生活 ... ヤムイモ (焼畑農業) = 現地人の生活

小麦
利権

ヨーロッパ人は、どうしてプランテーションを建て生産し始めたのか?

アフリカ → 輸出用

土地が広い 気候がFの 適している → 熱帯の暑さ

特徴を述べよ。

ヤムイモやバナナなどは自給のための作物と
カカオやバナナなどは輸出用の作物が、それぞれか
つかる。

7/5
A

